



たくさん読んで 大きくなあれ

事前のお知らせ

子ども読書の日記念行事 講演会「『あらしのよるに』が生まれたわけ」

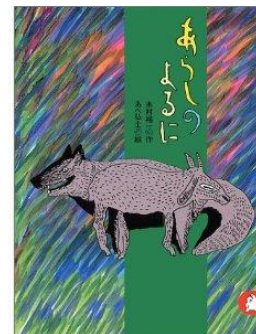
と き 5月11日(土) 午後2時～4時 (開場午後1時30分)

と ころ 生涯学習センター ホール (練馬区豊玉北6-8-1)

こどもの読書週間(4月23日～5月12日)、子ども読書の日(5月12日)の期間にあわせて、絵本・童話作家のきむらゆういち氏を講師に招き、5月11日に生涯学習センターホールにおいて講演会を開催する。きむら氏は「あらしのよるに」シリーズや「どうするどうするあなのなか」「ごあいさつあそび」など、たくさんの人気絵本や童話を創り出している人気作家である。

「あらしのよるに」はアニメ化され、映画やテレビ放映も行われて、新たなファン層も獲得しており、今回改めて多くの方に原作絵本の魅力を感じていただきたいと講演を依頼したものである。

講演会では、きむら氏による自身の作品の読み聞かせや、絵本の制作秘話などを披露する。【入場無料・定員 300 名・申込みは電話で光が丘図書館(03-5383-6500)へ】



「あらしのよるに」
きむらゆういち：作
あべ弘土：絵
講談社

【練馬区立図書館でのこどもの読書に関する取り組み】

練馬区子ども読書活動推進計画(第二次)《平成21年度～25年度》において、家庭、地域社会および学校のさまざまな場面で関係団体と連携しながら子どもの読書活動の推進を図ることとしている。

●ブックスタート事業…絵本を通して保護者と乳児が触れ合う機会をもてるよう、4か月健診を受診した赤ちゃんを対象に、絵本を配布するだけでなく、わらべうたや手あそびを実施している。

●本の探検ラリー…多様な分野の本に触れ、読書の楽しみを体験できるクイズ形式を取り入れた事業として、幼児や小中学生を対象に、小中学校や図書館で開催している。

●小中学校における読書活動の推進…各教科や調べ学習に対応できるよう図書館資料の団体貸出の充実を図るほか、読み聞かせやテーマに沿って図書を紹介するブックトークを実施している。

【講師紹介】

きむら ゆういち氏(経歴・作品等)

昭和23(1948)年東京都生まれ。多摩美術大学卒業。絵本・童話作家。「あらしのよるに」(講談社)で講談社出版文化賞絵本賞、産経児童出版文化賞、JR賞受賞。同舞台脚本で斎田喬戯曲賞受賞。同作品は映画化もされ、脚本を担当。平成17年(2005)年12月より公開された東宝アニメーション映画「あらしのよるに」は、平成19(2007)年「日本アカデミー賞優秀アニメーション作品賞」を受賞。「オオカミのおうさま」(偕成社、絵・田島征三)で第15回日本絵本賞受賞。絵本・童話創作に加え、戯曲やコミックの原作・小説など広く活躍中。著書は500冊を超え、数々のロングセラーは国内外の子どもたちに読み継がれている。

【問い合わせ】光が丘図書館 子供事業統括係 電話03-5383-6500

※絵本の表紙画像が掲載となる場合は、著作権の関係からタイトル、出版社名、著者名の記載が必要になります。